

がん薬物療法(全般)

服薬情報提供書(大阪版)

処方医	科	先生	保険	名称	
患者ID			薬	住所	
患者名			局	TEL	
				FAX	
患者同意	同意を得た。	同意は得ていないが、 治療上重要と考えるため報告します。	担当薬剤師		

確認日	年	月	日	対応者	本人	家族	その他 ()
レジメン				確認	投薬時	その他 ()	
・薬剤名				方法	テレフォンプォロー時	患者からの問合せ時	

発熱 (37.5度以上)		なし	あり	呼吸困難、息切れ、空咳		なし	あり
感染症様症状 (喉の痛み、排尿時痛など)		なし	あり	重篤な出血 (消化管出血・血尿・咯血など)		なし	あり

受診勧奨の実施 なし あり → 上記症状のため Grade3以上のため 休薬が必要と思われるため その他

(※) 皮膚科・腫瘍内科コンサルタ会議

未確認	有害事象 [CTCAE v5.0]	Grade1 (軽症 [※])	Grade2 (中等症 [※])	Grade3 (重症 [※])
	下痢	なし ベースラインと比べて<4回/日の排便回数増加;ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量が軽度増加	4-6回/日の排便回数増加;人工肛門からの排泄量中等度増加;身の回り以外の日常生活動作の制限	7回/日以上の排便回数増加;入院を要する;人工肛門からの排泄量の高度増加;身の回りの日常生活動作の制限
	便秘	なし 不定期または間欠的な症状;便軟化薬/緩下剤/食事の工夫/浣腸を不定期に使用	緩下薬または浣腸の定期的な使用を要する持続的な症状;身の回り以外の日常生活動作の制限	摘便を要する頑固な便秘;身の回りの日常生活動作の制限
	悪心	なし 摂食習慣に栄養のない食欲低下	顕著な体重減少、脱水または栄養失調を伴わない経口摂取量の減少	カロリーや水分の経口摂取が不十分;経管栄養/TPN/入院を要する
	嘔吐	なし 治療を要さない	外来での静脈内栄養を要する;内科的治療を要する	経管栄養/TPN/入院を要する
	食欲不振	なし 摂食習慣の変化を伴わない食欲低下	顕著な体重減少や栄養失調を伴わない摂食量の変化;経口栄養剤による補充を要する	顕著な体重減少または栄養失調を伴う(例:カロリーや水分の経口摂取が不十分);静脈内輸液/経管栄養/TPNを要する
	口腔粘膜炎	なし 症状がない、または軽度の症状;治療を要さない	経口摂取に支障がない中等度の疼痛または潰瘍;経口栄養剤による補充を要する	高度の疼痛;経口摂取に支障がある
	末梢神経障害 (末梢性ニューロパチー)	なし 症状がない(臨床所見または検査所見のみ)	中等度の症状;身の回り以外の日常生活動作の制限	高度の症状;身の回りの日常生活動作の制限
	倦怠感	なし だるさがある、または元気がない	身の回り以外の日常生活動作を制限するだるさがある、または元気がない状態	身の回りの日常生活動作を制限するだるさがある、または元気がない状態
	高血圧 :成人	なし 収縮期血圧(sBP)120-139 mmHgまたは拡張期血圧(dBP)80-89 mmHg	sBP140-159またはdBP90-99;内科的治療の変更;症状を伴うdBP>20の上昇;単剤の薬物治療を要する	sBP≥160またはdBP≥100;2種類以上の薬物治療または以前よりも強い治療を要する
	手足症候群 ^(※)	なし 手掌、足底に違和感があり、発赤はないが、わずかに見られ、疼痛はなく、日常生活の作業に差し支えない	手掌、足底に発赤、水疱形成がみられ、疼痛を時に感じ、日常生活の差表、歩行に差し支えることがある	手掌、足底に発赤が著明で、大型の水疱がみられ、強い疼痛を常に感じ、日常生活の作業が行いづらく、歩行しづらい
	ざ瘡様皮疹 ^(※)	なし 顔面を中心に全体で20個前後の丘疹、膿疱を認める。疼痛、そう痒はない。日常生活は気にならない	顔面、躯幹に全体で50個前後の丘疹、膿疱を認める。疼痛、そう痒を時に感じ。症状について他人から指摘される	顔面、躯幹、四肢に全体で100個前後の丘疹、膿疱を認める。疼痛、そう痒を常に感じる。他人との面会が億劫である

疼痛(部位・NRS・コントロールの状況など)、症状の詳細、指導内容、提案事項、その他

病院記載欄	返信日	年	月	日
報告内容を確認しました。 報告内容を確認し、処方医へ報告しました。	病院名	市立池田病院		
提案内容を医師へ伝えました。 次回受診時・診察前面談時に検討します。	薬剤師			
その他 ()				

味覚異常	なし	食生活の変化を伴わない味覚変化	食生活の変化を伴う味覚変化(例: 経口サブリメント);不快な味;味の消失	—
皮膚乾燥 ^(※)	なし	体表面積(BSA) <10%を占め、紅斑やそう痒は伴わない	BSA10-30%を占め、紅斑またはそう痒を伴う;身の回り以外の日常生活動作の制限	BSA > 30%を占め、そう痒を伴う;身の回りの日常生活動作の制限
そう痒 ^(※)	なし	軽度または限局性;局所的治療を要する	広範囲かつ間欠性;掻破による皮膚の変化;内服治療を要する;身の回り以外の日常生活動作の制限	広範囲かつ常時;身の回りの日常生活動作や睡眠の制限;副腎皮質ステロイドの全身投与または免疫抑制療法を要する
爪囲炎 ^(※)	なし	爪襞の浮腫や紅斑;角質の剥脱	局所的治療や内服治療を要する;疼痛を伴う爪襞の浮腫や紅斑;滲出液や爪の分離;身の回り以外の日常生活動作の制限	外科的処置を要する;抗菌薬の静脈内投与を要する;身の回りの日常生活動作の制限
皮疹 (斑状丘疹状皮疹)	なし	症状の有無は問わない(例: そう痒, 熱感, ひきつれ);体表面積(BSA) <10%を占める斑状疹/丘疹	症状の有無問わない, BSA10-30%の斑状疹/丘疹;身の回り以外の日常生活動作の制限;BSA > 30%を占める皮疹	中等度/高度の症状を伴う, BSA > 30%を占める斑状疹/丘疹;身の回りの日常生活動作の制限
蕁麻疹	なし	体表面積(BSA) <10%を占める蕁麻疹;局所治療を要する	BSA10-30%を占める蕁麻疹;内服治療を要する	BSA > 30%を占める蕁麻疹;静脈内投与による治療を要する
湿疹	なし	症状がない, または軽度の症状;ベースラインを超える内科的治療の追加を要さない	中等度;外用薬または内服治療を要する;ベースラインを超える内科的治療の追加を要する	重症または医学的に重大であるが, ただちに生命を脅かすものではない;静脈内投与による治療を要する
浮腫 (全身性浮腫)	なし	診察で明らか; 1+の圧痕浮腫	身の回り以外の日常生活動作に支障がある;内服治療を要する	身の回りの日常生活動作に支障がある;静脈内投与による治療を要する;皮膚の離開
疲労	なし	休息により軽快する疲労	休息によって軽快しない疲労;身の回り以外の日常生活動作の制限	休息によって軽快しない疲労で, 身の回りの日常生活動作の制限を要する